

令和4年7月29日（令和4(2022)年度第12号）



全国保育士会委員ニュース

本ニュースは、全国保育士会委員、顧問、監事、都道府県・指定都市保育士会事務局に送付しています。

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国保育士会事務局

〒100-8980

千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-6503

FAX 03-3581-6509

Mail hoikushikai@shakyo.or.jp

<https://www.z-hoikushikai.com>

<ニュースの内容>

- 急激な物価変動に係る経費上昇に関する要望（保育三団体協議会）
- 「令和4年度 保育所における第三者評価受審促進セミナー」（動画配信）開催のご案内（全社協・政策企画部）
- 令和5年度「児童福祉週間」標語を募集中！！

■ 急激な物価変動に係る経費上昇に関する要望（保育三団体協議会）

令和4年7月22日、保育三団体協議会（全国保育協議会、全国私立保育連盟、日本保育協会）において、急激な物価変動に係る経費上昇に関して保育現場における具体的な課題・要望をとりまとめ、後藤 茂之 厚生労働大臣および牧原 秀樹 自由民主党厚生労働部会長宛に要望書を提出しました。

原油価格・物価高騰等をめぐっては、5月3日付、7月6日付で国から事務連絡が発出され、給食費および光熱水費の上昇分に対して、既存の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の活用が可能であることが示されています。しかし、本交付金の活用をめぐっては、自治体間の取り組みに差が生じていること、また給食費および光熱水費以外の諸経費にも影響が生じていることから、保育三団体協議会として要望を実施しました。

要望書では、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の増額および財源の確保、同交付金の活用をめぐり自治体間の取り組み格差が生じないような更なる働きかけの実施、施設整備（改築等含む）費等の補助単価の引き上げ、冷暖房費等の今後上昇が予想される各種経費への対応、物価高騰終息までの補助の継続等を要望しました。

7月26日に開催された自民党厚生労働部会では、本要望が取り上げられ、牧原部会長から「部会としてしっかり受け止め、厚生労働省としてしっかり対応するよう求める」との発言があり、厚生労働省からも交付金の積み増しを要求していく旨の発言がありました。また、翌日の自民党政務調査会全体会議においても厚生労働部会からの要望として取り上げられました。

要望内容については、別添資料1をご参照ください。

■「令和4年度 保育所における第三者評価受審促進セミナー」(動画配信)のご案内(全社協・政策企画部)

全社協 政策企画部では、「令和4年度 保育所における第三者評価受審促進セミナー ～保育実践の振りかえりと第三者評価の活かし方～」を9月15日(木)～10月14日(金)に動画配信にて開催します(申込締切日:8月30日(火))。

保育所保育指針では、保育所は自己評価を行うこととその結果の公表に努めることが規定されており、令和2年3月には、保育所等における自己評価の実施状況を踏まえ、「保育所における自己評価ガイドライン」が改訂されました。

8割以上の保育所で自己評価が行われている一方、第三者評価の受審については、1割以下にとどまっています(「福祉サービス第三者評価事業」実施状況調査(令和2年度実施状況))。第三者評価の実施は任意となっていますが、自己評価に加え、外部の評価機関による専門的・客観的な評価結果を通じて、保育所の質の向上に向けた気づきを得る機会にもなります。

本セミナーは、第三者評価を活用した保育の「質」向上への取り組みを進めることを目的に開催します。第三者評価事業への理解を深めるための保育所等における園内研修としても、ぜひご活用ください。

【日時】 令和4年9月15日(木)～10月14日(金)

【開催方法】 動画配信

【参加費】 10,000円(1事業所あたり)

【お申込み】 8月30日(火)までに、下記専用サイトにてお申込ください。

<https://www.mwt-mice.com/events/daisansya220915>

【プログラム】

動画時間	内 容
30分	基調説明 「保育所における福祉サービス第三者評価受審促進に向けて」 厚生労働省子ども家庭局 保育課
50分	講演 「第三者評価受審を通じた保育の質の確保・向上」 大阪総合保育大学 学長 大方 美香 氏
25分×3名	報告 「第三者評価受審を通じた保育の質向上の取り組み」 ①(受審事業所) 社会福祉法人 あおもり愛育会(青森県) みどりの風こども園ひろた 園長 渡邊 建道 氏 ②(受審事業所) 社会福祉法人 愛稚会(新潟県) 翠松保育園 副園長 猪俣 陽子 氏

	③ (受審事業所) 社会福祉法人 育宝会 (京都府) 幼保連携型認定こども園木津さくらの森 園長 藤本 和寿 氏
--	---

詳細は別添資料 2 もしくは下記ホームページをご確認ください。

■ 全国社会福祉協議会ホームページ > セミナー、研修会等一覧

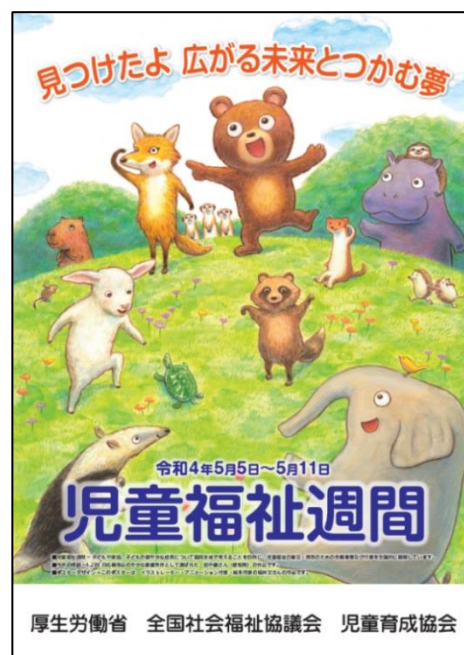
<https://www.shakyo.or.jp/seminar/index.html>

■ 令和5年度「児童福祉週間」標語を募集中！！

毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間」とし、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種事業および行事を行っています。本事業は、厚生労働省、社会福祉法人全国社会福祉協議会、公益財団法人児童育成協会の三者が主唱団体となっています。

現在、令和5年度の「児童福祉週間」に向けて、8月1日より標語の募集を行っていますので、貴園からも積極的にご応募いただくとともに、周知にご協力ください。

最優秀作品に選ばれた標語は、児童福祉週間の広報・啓発ポスターをはじめ、全国各地で実施される各種事業や行事等で幅広く活用されます。



～令和4年度「児童福祉週間」の最優秀作品になった標語～

「見つけたよ 広がる未来と つかむ夢」

(田中 豪さんの作品 愛知県・15歳)

- 【募集期間】 令和4年8月1日(月)～9月30日(金)
- 【募集内容】 子どもたちを応援する標語や、未来に向けての子どもたちからのメッセージとなる標語。
- 【応募資格】 どなたでも応募できます。
- 【応募先】 公益財団法人児童育成協会「標語募集」係
〒102-0081 東京都千代田区四番町 2-12 四番町 TH ビル 6階
FAX. 03-5357-1809 / TEL. 03-5357-1174
E-mail : hyogo@kodomonono-shiro.jp
URL : <https://www.kodomonono-shiro.or.jp/jigyohyougo>

※「児童福祉週間」標語は、FAX、メール、インターネットでも応募できます。

児童福祉週間とは

「児童福祉週間」は、国民の間に児童福祉の理念や制度の周知を図り、国民の児童福祉に対する理解と認識を深めることをねらいとして、1947年（昭和22年）より、毎年、5月5日の「こどもの日」を中心に、全国的に実施されてきたものです。

子どもや家庭を取り巻く環境は少子化の進行に伴う育児不安や子育ての孤立化、児童虐待の増加、インターネットやSNSの普及による子どもへの悪影響など大きく変化していることから、次世代を担う子どもが心身ともに健やかに生まれ育ち、家庭や地域で心豊かに安心・安全・安定して生活の営みができる環境づくりを推進していくことは、極めて重要な課題となっています。

詳細は下記ホームページをご確認ください。

公益財団法人 児童育成協会ホームページ

TOP > 事業紹介 > 児童福祉週間事業

<https://www.kodomonoshiro.or.jp/jigyo/hyougo>

